

合唱祭 直前です

校長 中基 信夫

合唱祭が迫ってきました。(10/16) 先生方の熱も日に日に増してきた気がします。もちろん子どもたちの意欲も…。そんな活気に満ちた校舎が私は大好きです。本番は、多少音程が外れても、一人一人が学級の一員として精いっぱい大きな声を出して歌ってくれたらなあ…などと願っています。(音楽の荒川先生ごめんなさい！)



音楽ホールにて

でも、本当は合唱は大きな声を出していればいい、という訳ではなく、強弱はもちろん音程をしっかりと取らないとなかなか入賞できません。私がそれに気づいたのは学級合唱をやり始めてからずいぶん経ってからのことでした。学級担任としては、全員が力いっぱい声を出して歌うことがすべて、と大きな勘違いをしていたのです。したがってその頃は、優秀賞くらいまではいくのですが、最優秀賞まではなかなか行かず、よく生徒たちと愚痴っていたものでした。「なんでみんなで汗をかくくらい大きな声で歌っているのに…」って。

さて、臼井中の子どもたちはどうでしょうか？音楽科の荒川先生をはじめ、今の学級担任の先生方は、合唱の本質を十分理解していますので、30年以上前に私がやっていた学級合唱のようなことはないと思います。(と、分かっているけど、今でも私は全員が全力で大きな声を張り上げて歌ってくれている学級合唱が大好きです。)